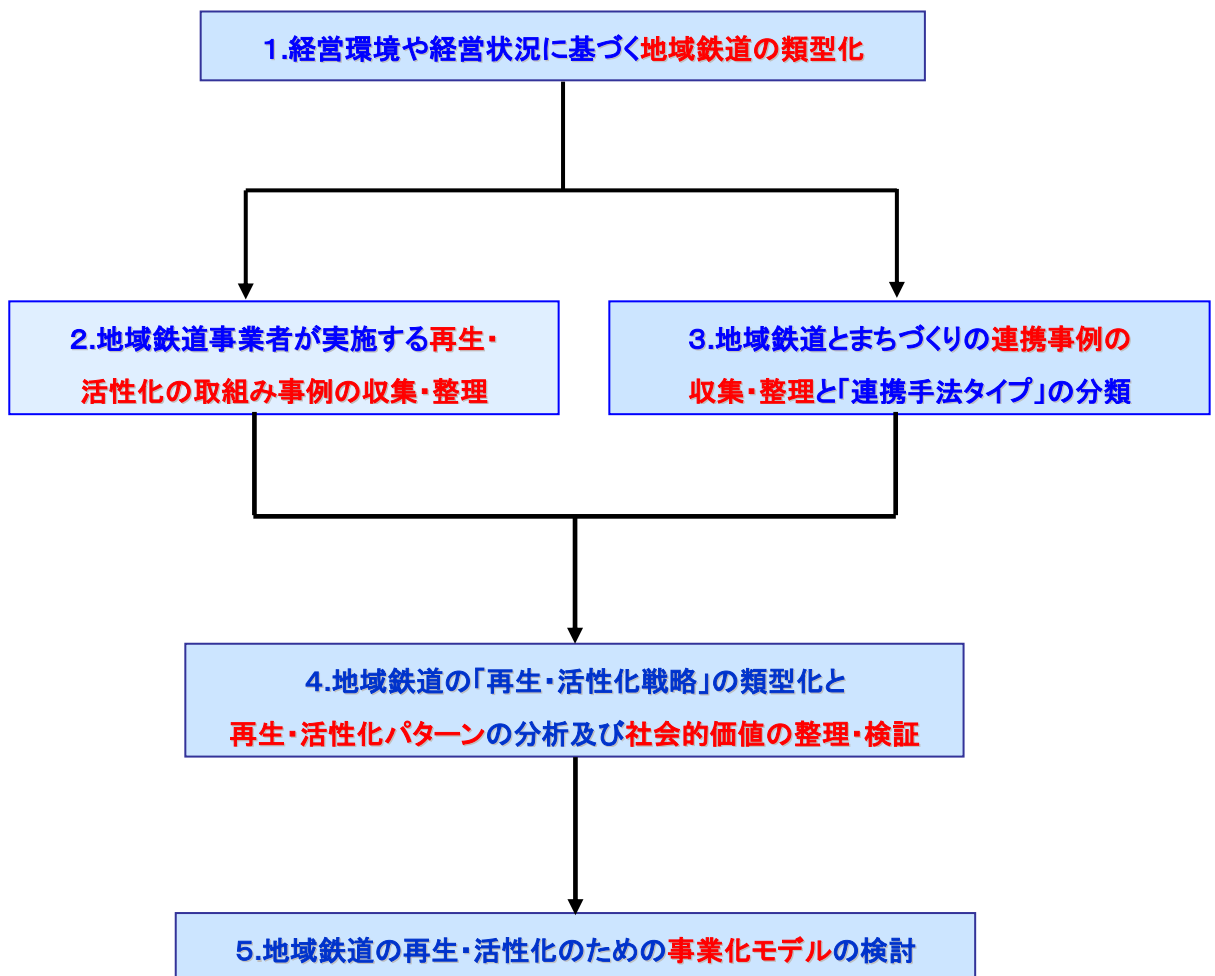


第2回 地域鉄道の再生・活性化等研究会
～ 鉄道運輸機構における調査・検討の進め方（案）～

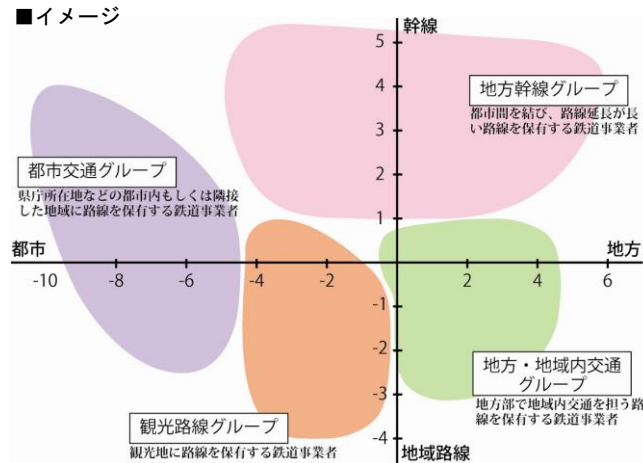
鉄道運輸機構では、以下に示す6つの項目の調査・検討を行い、その成果を研究会に報告する。特に当機構では、日本観光振興協会で実施している事例調査等の成果を活用し、地域鉄道の再生・活性化パターンの分析を行い、その結果をもとに、事業化モデルの策定を行うことを主な目的とした調査を実施する。

<調査・検討フロー>



1. 地域鉄道事業者をとりまく経営環境や経営状況に基づくデータ整理と類型化

各地域鉄道事業者の路線延長や沿線居住人口密度といった【経営環境】、および輸送実績や財務指標等の【経営状況】のデータ整理と類型化（グループ分け）を行う。〔イメージ参照〕

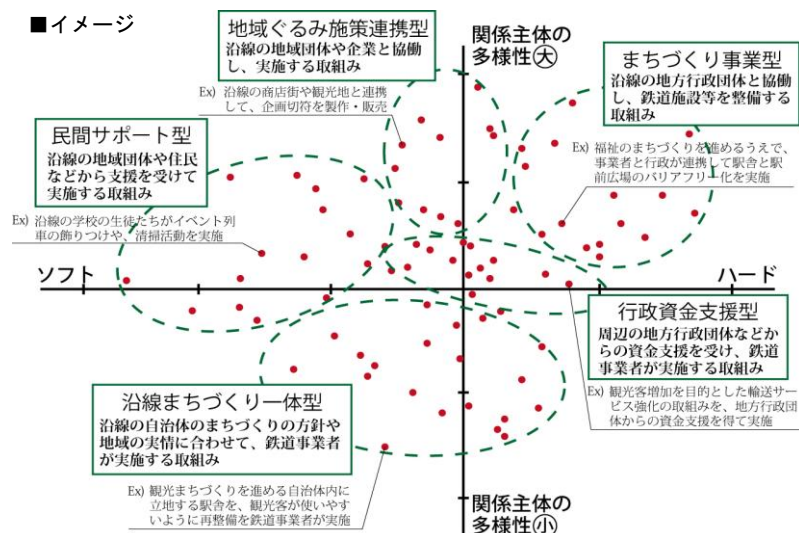


2. 地域鉄道事業者が実施する再生・活性化の取組み事例の収集・整理

国交省鉄道局で取りまとめられている「ベストプラクティス集」（平成 16 年）や、平成 23 年度に実施された取組み事例の取りまとめ資料、日本観光振興協会が実施しているアンケート調査結果を活用し再生・活性化の取組み内容を整理する。また、観光利用促進策以外の定期利用促進や定期外生活利用促進策、また運輸外収入増収策、費用節減対策等も抽出する。

3. 地域鉄道とまちづくりの連携事例の収集・整理と「連携手法タイプ」の分類

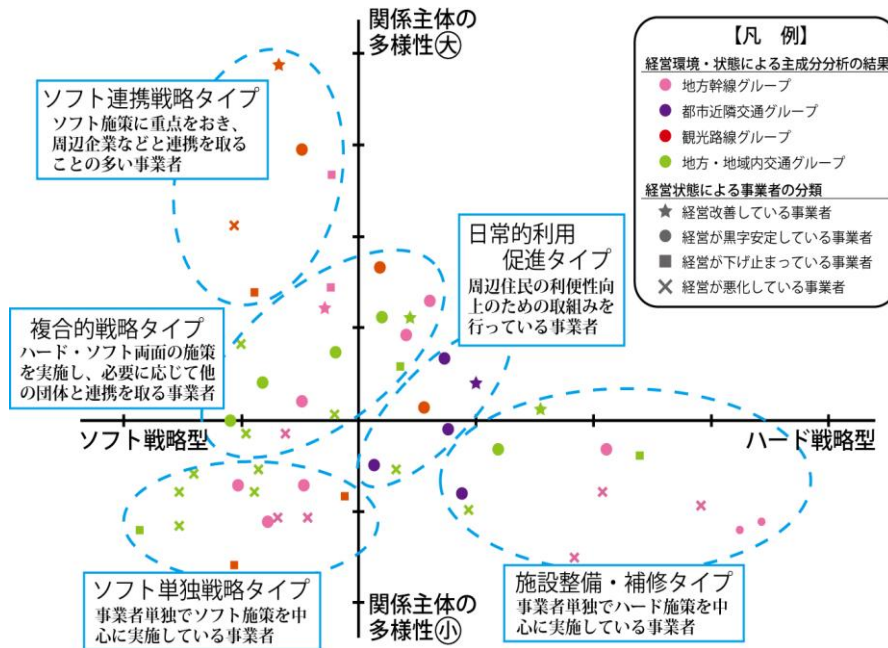
鉄道事業者と地方行政、沿線企業・商店、地域住民等が連携して実施している取組みを収集し、その内容を取りまとめ、「連携主体」と「連携方法」の2つの視点で連携手法のタイプ分類を行い〔イメージ参照〕、タイプごとの特徴等を取りまとめる。必要に応じて、ヒアリングやアンケート調査を実施する。



4. 地域鉄道の「再生・活性化戦略」の類型化と再生・活性化パターンの分析

① 取組の内容と連携手法タイプに基づく地域鉄道の「再生・活性化戦略」の類型化と傾向分析を実施

■ 「再生・活性化戦略タイプ」と「経営環境×経営状況に基づく類型」の照らし合わせのイメージ



② 地域鉄道の社会的価値の整理・検証

上記①の調査・分析結果をもとに、観光や環境面での社会的価値が顕在化している事例を抽出し、その内容を取りまとめる。

※地域鉄道の社会的価値については、国土交通省において、「移動時間の短縮、移動費用の節減」「観光振興」「安心感・期待感」「CO2排出削減効果」等、8つの評価項目（例）が示されている。また、当機構が平成18年3月に取りまとめた「地域鉄道活性化に向けて～地域の議論のために～」の中で、「バス代替による運賃上昇、所要時間増」「CO2排出量の増加」等、5つ指標に基づく社会的価値の定量手法を提案している。

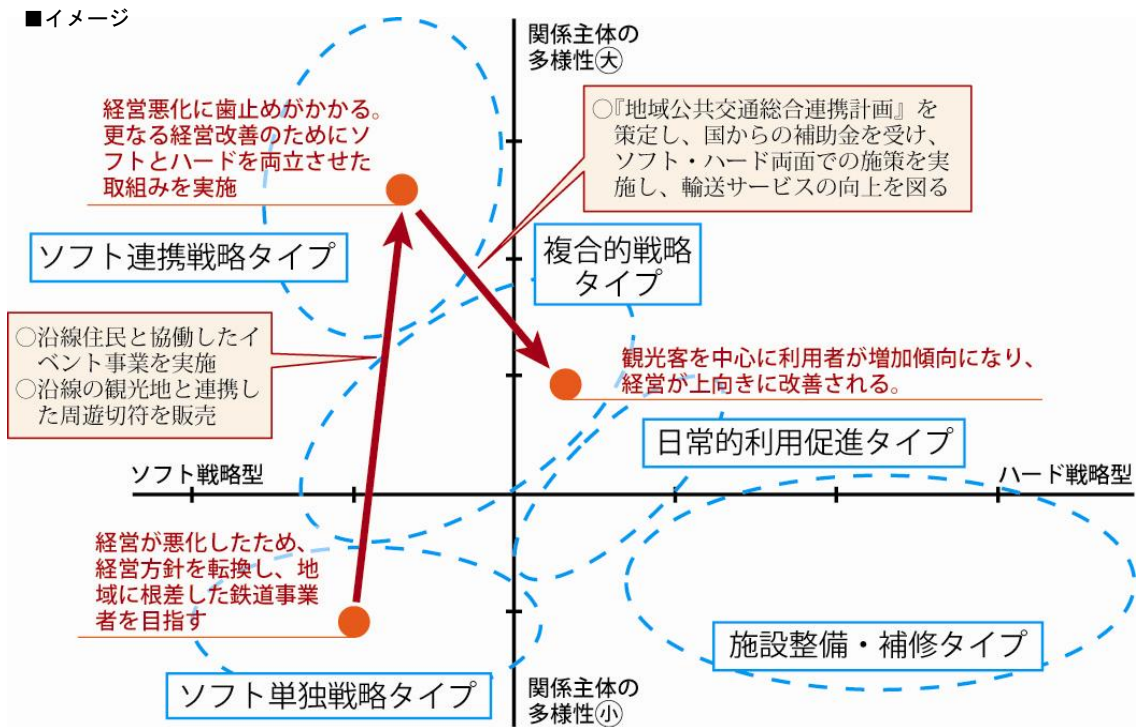
※右図出展：
交通政策審議会 陸上交通分科会 鉄道部会
第5回 ネットワーク・サービス小委員会 資料
(平成20年1月開催)

地域に鉄道輸送が存在することによる便益の評価項目(例)	
移動時間の短縮、移動費用の節減	○バス等と比較した場合の移動時間の短縮、移動費用の節減
観光振興	○沿線観光地への入込客数等の増加
商店街の活性化	○駅周辺の商店街における賑わいの向上
まちの誇らしさ	○地域の知名度向上、地域住民としての誇らしさの向上
安心感・期待感	○いつでも鉄道を利用できるという安心感・期待感
移動制約者の足の確保	○高齢者等の移動制約者の足の確保
並行道路の走行時間の短縮	○自動車交通の減少に伴う並行道路の走行時間の短縮
CO2排出削減効果	○自動車交通の減少に伴うCO2排出量の削減効果

等

③ 地域鉄道の再生・活性化パターンの分析〔イメージ参照〕

効果の確認できる鉄道と確認できない鉄道での比較検討や成功ポイントの分析



5. 地域鉄道の再生・活性化のための事業化モデルの検討

上記1. 及び5. の経営状況分析、モデル事業者を取り巻くビジネス環境分析（沿線を面的にとらえた地域分析）、活性化再生パターンの分析を整理して、内容案を取りまとめるとともに研究会に提案する。